



それぞれの世帯でさまざまな課題が生じています。
まちの被害状況や復興のポイントを考慮して考えて
みましょう！

ワークシート①：被災後の「住まい」の復興を考えよう！

あなたは西水元地区在住の「東京さん」です（設定）。被災後、仮住まいや自宅の再建はどのようにしますか？
またその選択をした理由は何ですか？状況付与に応じて、住まいの再建の方法を選択・チェックし、その理由を書いてみましょう！

Q1.
東京さんにはどのような「住まいの復興」が必要だと思いますか？

災害応急対策		復旧		復興		
緊急対応期	避難生活期		応急復旧期	復興準備期	復興始動期	復興本格期
発災直後～1週間	～2週間	～1か月	2か月	～4か月	～6か月	2年～
		自分の建物が健全であっても、隣家が倒壊してくる可能性があるなど、周囲の状況によっては「危険（赤色）」と判定されることもあります。		応急仮設住宅の入居申請をしても、希望者が多い場合、入居できない場合もあります。		
Q2.被害状況から見てどこで避難生活をしますか？		Q3.どこで仮住まいを過ごしますか？		Q4.どのように住まいの再建をしますか？		
☐ 避難所 ☐ 福祉避難所 ☐ 在宅避難 ☐ その他 ☐ 親戚・知人宅 ☐ 賃貸住宅 ☐ ホテル ☐ その他 _____						

 ☐ 応急仮設住宅 ☐ 建設型 ☐ 福祉仮設 ☐ 賃貸型(みなし仮設) ☐ 在宅避難 ☐ 応急修理を実施した自宅 ☐ その他 ☐ 親戚・知人宅 ☐ 賃貸住宅 ☐ ホテル ☐ その他 _____ | |

住宅の再建を検討した結果から普段からできる取り組みをチェックしてみましょう！

☐ 耐震診断・耐震補強

☐ 地震保険への加入

☐ 耐火性の高い建物への改修

☐ その他

(_____)